

早期支援連絡会の年間の取り組み

I 琉球大学教育学部と石垣市教育委員会、石垣市こども未来局は「早期支援連絡会」を立ち上げました。
この「早期支援連絡会」のねらいとする取り組み①、②をめざします。

- ① 各小学校が、入学してくる子どもの教育や支援を行ってきた幼児教育施設と丁寧な引きつぎ・申し送りを行い、入学後の子どもの学びの場を慎重に検討し、入学後の小学校への適応支援・教育支援をすることにより、共生社会の実現をめざす「インクルーシブ教育」の充実や発展に結びつく取り組みです。
- ② 石垣市の「勇気づけの教育」、特に重視される早期からの「自己肯定感」を育むための有効な「幼児教育と小学校教育との連携・協働」、「通常の学級と特別支援学級との連携・協働」の取り組みとなっており、さらなる「勇気づけの教育」の展開や発展がめざします。

II 琉球大学教育学部は石垣市教育委員会との協定および石垣市子ども未来局との連携・協働により実施される「早期支援連絡会」の具体的な取り組みを、大学が展開する「支援を必要とする子どもに関するトータル支援事業」の重要な取り組みとして位置づけています。

各学校および幼児教育施設との連携については、

- ① 入学後の小学校への巡回による子どもたちの「適応支援」や教育や支援に関する教員や支援員への「相談支援」を開催する。(各学校との巡回日の調整)
 - 5月～7月(適応支援)、7月～8月(支援員支援)、9月～12月(経過支援)
 - 9月～12月(引継ぎに向けた実態把握と支援)
- ② インクルーシブ教育の実践や早期からの「自己肯定感」を育むために有効な「幼児教育と小学校教育との連携・協働」、「通常の学級と特別支援学級との連携・協働」に関する内容や「通常の学級の教科学習」や特別支援学級での「自立活動」の授業づくりの実践力を養成する研修会を、特別支援学級設置校長会の協力のもと開催する。(大学、特別支援学級設置校長会、教育委員会、こども未来局の連携・協働による開催)
 - 8月中旬～下旬
- ③ 石垣市教育委員会と八重山教育事務所およびこども未来局との連携・協働による、支援を必要とする子どもたちのための「トータル支援教室(自立活動の授業や幼児教育等の実践教室)」や「教育相談会」を開催する。(保護者へのチラシの配布)
 - 8月中旬から下旬、10月下旬
- ④ 幼児教育施設と小学校における子どもたちの実態に応じた、一人一人のニーズに基づいた適切な教育や支援に関する、幼児教育施設と小学校との「情報交換会」を開催する。
 - (11月～2月:各学校の教育委員会へ開催日の通知、教育委員会による調整およびこども未来局から幼児教育施設への開催日の告知、各学校において引き継ぎ会実施)
 - 1月～3月(引継ぎ支援)